

ディレクターズ・トーク & 関連上映

にしこおり よしなり

映画監督 錦織良成



出身地島根県を舞台にした「白い船」「うん、何?」「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」「渾身 KON-SHIN」をはじめ、人と人の絆を描いた秀作を発表し続ける錦織良成監督。錦織監督をお迎えし、ご自身の映画作りについて語っていただきます。

聞き手／兼永みのり(フリーパーソナリティ)

と き／2015年2月21日(土) 14:00～トーク

15:10～ 映画上映「渾身 KON-SHIN」

※上映開始時間は多少、前後する場合があります。

ところ／広島市映像文化ライブラリー 2階ホール

鑑賞料／大人510円、シニア(65歳以上) 250円、小・中・高校生無料

渾身 KON-SHIN

2012(平成24)年「渾身」製作委員会 134分 カラー

監督／錦織良成

出演／青柳翔、伊藤歩、宮崎美子、財前直見

島根出身の錦織良成監督が、隠岐古典相撲を題材に描いた感動作。親が決めた縁談を断り、駆け落ち同然に島を飛び出した英明が島に戻ってきた。英明は、様々な人々への思いを背負いながら古典相撲の練習に励む。やがて、英明は結びの一番をとる大関に選ばれ、20年に一度の開催となる選官相撲大会の日を迎えるが…。

プロフィール／錦織良成(にしこおり よしなり)

1962年島根県平田市(現出雲市)生まれ。

島根県立平田高等学校在学中、演劇部で演劇や脚本の楽しさを知り、人生の方向を決めるが、親の反対により自衛隊に入隊。2年間まじめに活動したが、演劇が忘れられず上京。24歳の時に先輩から脚本家を目指すなら、映画監督を目指せとアドバイスを受け、30歳前後からオリジナルビデオの制作を始める。35歳で初めての映画「BUGS」の監督、脚本を手がけ、念願の映画監督になる。38歳で婦人自衛官の成長を描いた「守ってあげたい」、40歳で島根県塩津の小学校を舞台にした「白い船」で、自身の今後の活動方向の手がかりを発見した。41歳で自然との共生、環境をテーマにした「ハート・オブ・ザ・シー」、43歳で日本人の忘れた心を取り戻そうとオリジナル脚本を手がけた「ミラクル・バナナ」、46歳で島根県雲南市を舞台に、神話と一体になった自然の豊かさと人々のさりげない生活を描いた「うん、何?」、48歳で島根県松江市と出雲市を結ぶ一畑電鉄を舞台にした「RAILWAYS」、49歳で電車の運転士になった男の物語、49歳で動物映画に初挑戦した「わさお」、50歳で島根県隠岐諸島を舞台に隠岐古典相撲を題材に描いた「渾身」はモントリオール世界映画祭の正式招待作品にもなり、日本のローカルをグローバル化するスタートとなった。



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日：月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日